

Umbrella VAにユーザIPマッピングを送信するためのUmbrella Chromebookクライアントの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[プレーン\(HTTP\)VA通信の使用](#)

[セキュアな\(https\)VA通信の使用](#)

はじめに

このドキュメントでは、Umbrella仮想アプライアンスにセキュアチャネル経由でユーザIPマッピングを送信するようにUmbrella Chromebookクライアントを設定する方法について説明します。

前提条件

バージョン2.7以降、Umbrella仮想アプライアンスは、HTTPS経由で各Umbrella ChromebookクライアントからGSuiteユーザIPマッピングを受信できるようになりました。この機能が正しく動作するには、Umbrella仮想アプライアンス(VA)がバージョン2.7以降を実行し、Umbrella Chromebook Client(UCC)がバージョン1.3.3以降を実行している必要があります。設定されたVAの少なくとも1つを、UCCを実行しているChromebookのDNSサーバとして設定する必要があります。

プレーン(HTTP)VA通信の使用

Cisco VAとUCC間のプレーン(HTTP)通信を使用するには、設定ファイルで各VAのIPアドレスを指定して「vaInfo」を追加する必要があります。設定例については、例1を参照してください。

例1:プレーン(HTTP)VA通信を使用します。

```
"vaInfo": {
  "Value": [
    {
      "IP": "192.168.100.10"
    },
    {
      "IP": "192.168.100.11"
    }
  ]
}
```

セキュアな(https)VA通信の使用

Cisco VAとUCCの間の通信を暗号化するには、まずVAで暗号化された通信を有効にする方法について、次のリンクを参照してください。 [Configure Umbrella VA to Receive User-IP Mappings](#)

次に、例2に示すように、ネットワーク内の各VAに一意的なFQDN名を作成し、それらをコンフィギュレーションファイルに追加します。

例2:セキュア(https)VA通信を使用する。

```
"vaInfo": {  
  "Value": [  
    {  
      "FQDN": "myVA1.mydomain.com",  
      "IP": "192.168.100.10"  
    },  
    {  
      "FQDN": "myVA2.mydomain.com",  
      "IP": "192.168.100.11"  
    }  
  ]  
}
```

最後に、このUCC設定ファイルで設定されている各VAの証明書が、G-Suite管理コンソールを介してUCCを実行しているすべてのChromebookにプッシュされていることを確認してください。

次の重要事項に注意してください。

1. 新しいバージョンのUCCは、プレーンVA通信を使用するコンフィギュレーションファイル内で「vaIP」をサポートする下位互換性があります。HTTP通信が優先される場合は、コンフィギュレーションファイルを変更する必要はありません。
2. これらのコンフィギュレーションファイル内のすべてのVA FQDNは、VA用に設定された内部DNSサーバで同じIPに解決される必要があります。
3. コンフィギュレーションファイル内のすべてのパラメータは、大文字と小文字が区別されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。